

△
会員様同士の活発な情報交換のために、月に1回お届けしております。

+++ CONTENTS +++

- 【1】青銀会理事によるリレーエッセイ:(理事)篠原祥哲 氏
- 【2】助成金・イベント・セミナー等のお知らせ
- 【3】編集部からのお知らせ
- 【4】編集後記

【1】大学発ベンチャーにとって、株式上場が唯一の目標ではない

篠原 祥哲

一般に起業を成功させるには、いくつもの困難を乗り越えなければなりません。大学発ベンチャーは、大学での先端技術の研究成果を使って起業するため、大変な優位性がありますが、それだけで成功するわけではありません。

ベンチャーを簡単に成功させる方法はありませんが、簡単に失敗する方法はたくさんあります。その1つが設立時のビジネスプランで株式上場を唯一の目標とすることです。

日本には約150万の会社があり、事業所の数は約600万あります。上場会社は4000社なので会社数の0.26%に当たり、1000に3つまでいきません。事業者でみると更にその4分の1で1000に1つにもなりません。一方で毎年10万くらいの会社が設立され、5年以内にその80%以上が消えているそうです。上場は夢のまた夢、消滅が現実に近いということです。従って、設立時に上場を唯一の目標にかかげることは非現実的で危険な考えです。上場するといって出資を募ることは、この現実を知らない人に対しては詐欺に近いと言えます。

夢を持つことは大切なのですが、起業して一番最初にやるべきことは、事業を続けるに必要な最低限の費用を賄うための収益を得ることです。いわゆる日銭(ひぜに)を稼がねばなりません。

ビジネスプランの売上計画は計画通り達成できるのは稀ですが、一方、費用は確実に使われます。このギャップを増資や借金で埋め続けることは、間違いなく失敗への近道となります。特に、実力もないのに上場に合わせて売上計画を作成すれば、破滅は避けられません。まず、事業基盤を着実に作り上げねばなりません。殆どの会社は上場しなくても良い製品を作り、社会に貢献し、かつ利益をあげて、役員・従業員豊かな生活を作り上げています。

上場の夢を持つのは良いことですが、事業の唯一の目標ではありません。先端技術を利用して、豊かな社会を作り出すことに貢献し、より多くの研究費を得ることを目標とすべきです。一攫千金が最終目標では少し悲しいと思います。

▼△▼△

【2】イベント・セミナー・助成金等のお知らせ

▼△▼△

海外研究者招へい事業(国際研究協カジャパントラスト事業)
平成21年度海外招へい研究者受入企業の募集について
【独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構】

日本国内において民間が実施する鉱工業基盤技術の研究を支援すること、また、当該分野の国際研究協力を積極的に推進し、世界の科学技術の進歩及び経済の発展に寄与することを目的として、鉱工業基盤技術に関する試験研究に携わる海外の研究者を我が国に招へいします。

具体的には、受入企業が希望する海外招へい研究者の渡航費、支度料、滞在費(15000円/日)、国内出張費(合計10万円まで)等を支給します。

■期 間:平成20年9月8日～平成20年11月7日 17時(必着)

■問い合わせ先

研究開発推進部 技術コーディネーターグループ

「海外研究者招へい事業」事務局 井原、吉木(よしき)、渡辺

TEL:044-520-5172 FAX:044-520-5178

■公募情報

[https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/CA/nedokouboplace.2008-03-](https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/CA/nedokouboplace.2008-03-12.8888243044/nedokouboplace.2008-03-13.7111176843/JT/nedokoubo.2008-09-01.4553065153/)

[12.8888243044/nedokouboplace.2008-03-13.7111176843/JT/nedokoubo.2008-09-01.4553065153/](https://app3.infoc.nedo.go.jp/informations/koubo/koubo/CA/nedokouboplace.2008-03-12.8888243044/nedokouboplace.2008-03-13.7111176843/JT/nedokoubo.2008-09-01.4553065153/)

▼△▼△

関西学院大学 産官学連携フォーラム

【主催:関西学院大学研究推進社会連携機構】

関西学院大学においては、スクール・モットー「Mastery for Service(奉仕のための練達)」のもと、以前から積極的に社会貢献に取り組んでおり、産官学連携活動を通じた研究成果の社会還元を推進しているところです。今回は東京丸の内キャンパスにて産官学連携フォーラムを開催し、本学の産官学連携活動の概要を紹介させていただくとともに、企業との連携実績豊富な理工学部長田典子教授による研究シーズ発表を行います。

■日時:2008年9月17日(水) 18:30～21:00

■場所:東京丸の内キャンパス

■参加費:無料

■交流会費:無料

■詳細:<http://124.37.34.6/kwansei/forum/sankan.html>

■問い合わせ先:

関西学院大学研究推進社会連携機構

TEL:079-565-9052

FAX:079-565-7910

E-mail:ip.renkei@kwansei.ac.jp

▼△▼△

第7回医工学研究センターシンポジウム

【同志社大学、同志社大学 医工学研究センター】

■日時:2008年9月20日(土) 13:30～17:00

■場所:同志社大学 今出川校地 寒梅館 地下1 階 会議室

■プログラム

13:30～13:40 センター長挨拶

同志社大学医工学研究センター センター長 井上 望 氏

13:40～14:40 人工臓器から再生医療へ

奈良県立医科大学 医学部 教授 筏 義人 氏

14:40～15:00 休憩

15:00～16:00 触覚・感性に関連するQOLテクノロジーの創出

東北大学大学院医工学研究科 教授 田中 真美 氏

16:00～17:00 ゲノムとエピゲノム

東京大学先端科学技術研究センター ゲノムサイエンス部門 教授

■技術交流会 17:30～19:30

同志社大学 今出川校地 寒梅館 7階レストラン『SECOND HOUSE will』

参加費:5,000円

■参加申込期日と申込先

9/13(土)までに下記まで。

同志社大学 医工学研究センター事務室

(TEL・FAX) 0774-65-6409 , (E-mail) rc-bioe2@mail.doshisha.ac.jp



兵庫県立大学シンポジウム 産学共生への挑戦

<http://www.u-hyogo.ac.jp/industry/center/inform/H20symposium.pdf>

【兵庫県立大学、兵庫県立大学シンポジウム実行委員会】

先端技術、ビジネスモデル、環境保全戦略、生命現象、看護ケアなど、兵庫県立大学の総力を結集します。

■日時:平成20年9月22日(月)10:00~19:00

■場所:姫路商工会議所

■主催:兵庫県立大学、兵庫県立大学シンポジウム実行委員会

■プログラム

開会挨拶 10:00~10:15

第1部 ショートプレゼンテーション 60件 10:20~14:30

第2部 基調講演 14:40~17:10(501ホール) 定員180名

・挨拶 14:40~15:00

・基調講演 15:00~17:10

「人の安全と健康を支援するMEMS技術」

兵庫県立大学 大学院工学研究科 教授 前中一介

「ダイセル化学のGSC(Green Sustainable Chemistry)への取組み」

ダイセル化学工業(株) 研究企画部 コーポレート開発センター

主席研究員 中野 達也

交流会 17:30~19:00

■参加費:無料(※交流会は3,000円(ただし学生は1,000円))

■詳細はこちらから:

<http://www.u-hyogo.ac.jp/industry/center/inform/H20symposium.pdf>

■問い合わせ先

兵庫県立大学シンポジウム実行委員会 企画部会事務局

(姫路産学連携センター)

TEL:079-267-4996 FAX:079-267-6017

E-Mail: sympo@eng.u-hyogo.ac.jp



大阪府立大学産学官連携フェア2008

～進化するシーズと出会いませんか?～

【大阪府立大学(産学官連携機構)、大阪産業創造館】

産学官連携フェアでは、産学連携を目的に企業の新事業や新製品開発に役立つナノテクノロジー、通信、環境、健康、福祉、創薬に至るまで幅広いテーマのシーズを研究者が発表します。

また、産学官連携事例や本学の大学発ベンチャーの紹介も参考になるかと思えます。

最新シーズ情報、産学連携のキッカケを掴むチャンスです!

■日時:2008年9月26日(金) 10:00-17:00

■場所:大阪産業創造館 3Fマーケットプラザ

■参加費:無料

■対象:中小企業 研究者、開発担当者、経営者など

■詳細はこちらをご覧ください。

http://www.sansokan.jp/events/eve_detail.san?H_A_NO=08794

■申込みに関するお問い合わせ

大阪産業創造館イベント・セミナー事務局

大阪府中央区本町1-4-5 大阪産業創造館13階

Tel: 06-6264-9911 Fax: 06-6264-9899 email: ope@sansokan.jp

受付時間:月~金 10:00~18:00(祝日除く)

■発表内容に関するお問い合わせ

大阪府立大学 産学連携機構

大阪府堺市中区学園町1-2

Tel: 072-254-9872 Fax: 072-254-9874

email: ipbc@iao.osakafu-u.ac.jp

「NEDOかんさい産業技術フォーラム2008」のご案内
 【主催：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構】

NEDO技術開発機構関西支部では産学官の連携強化、中部・関西・四国地域における新事業・新産業の創出を目的として、「NEDOかんさい産業技術フォーラム2008」を開催いたします。

第8回となる今回のフォーラムでは、「今、地域から新産業創造、イノベーションを」をテーマに、地域産業の活性化に向けた研究開発の役割に焦点を当てて、最近の国の政策概要や民間企業・研究開発型ベンチャー企業の積極的な取組や、NEDOの産業技術分野での事業展開について紹介します。

- 日時：平成20年9月30日(火) 13時00分～17時00分(受付12時00分～)
- 場所：ホテルモントレ大阪 7階「アマリエ」
- 参加：無料
 ※事前に参加申込手続きをお願いします：9/29(月)締切
- 定員：150名
- 内容：
 - 開会挨拶
 - 基調講演「未来の情報社会を支えるナノガラスとは」
 京都大学大学院工学研究科 教授 平尾一之 氏
 - 施策概要「平成21年度の産業技術政策について」
 近畿経済産業局 産学官連携推進課長 八島毅祐
 - 「NEDOテーマ公募型事業の紹介」
 NEDO技術開発機構 関西支部 主査 竹田隆一 氏
 - 事例紹介「未来を拓くバイオナノファイバー」
 京都大学・生存圏研究所 教授 矢野浩之 氏
 - 事例紹介「高性能、高機能真空断熱材の実証研究」
 松下電器産業?松下ホームアプライアンス社
 技術本部オール電化開発センター 主任技師 中間啓人 氏
 - 事例紹介「高温用耐熱非アスベストガスケットパッキンの開発」
 ジャパンマテックス? 部長 中村雄三 氏
- 申込方法・詳細：以下のHPをご覧ください。
<https://app3.infoc.nedo.go.jp/gyouji/events/SR/nedoevent.2008-07-29.9400307649/>
- 問い合わせ先
 NEDO技術開発機構 関西支部 総務部 徳安、根岸
 (TEL) 06-4306-5020 (FAX) 06-6344-4575

大阪大学接合科学研究所研究集会
 「軽量・高機能化に貢献する環境・エネルギー対応新規鉄鋼材料」
 【大阪大学接合科学研究所スマートグリーンプロセス学分野】

本研究集会では、低AI含有鉄鋼材料の理解を深めるために、各種の優れた特性の基礎論、高強度高性能鉄鋼の特性と開発経緯と各種用途への応用展開に関する研究発表を集めました。

本系鉄鋼材料は日本の製造技術の優位性向上や炭酸ガス排出量削減などに貢献できるものと考えられ、今後の急速な実用化の進展を願うものです。

- 日時：平成20年10月1日(水) 13:30-16:50 (懇談会 17:00-18:10)
- 場所：大阪大学 荒田記念館(大阪大学接合科学研究所内)
- 参加費：参加費、懇談会費共に無料
- 詳細：
 - 以下HPの「軽量・高機能化に貢献する環境・エネルギー対応新規鉄鋼材料」→「プログラム(PDF)」からご覧ください。
- 参加申込：
 - 以下HPの「軽量・高機能化に貢献する環境・エネルギー対応新規鉄鋼材料」→「参加申込書」により9月22日(月)までにお申し込み下さい。
 - <http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/~spc3/>
- 問い合わせ
 〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1
 大阪大学接合科学研究所スマートグリーンプロセス学分野



ライフサイエンス分野における特許審査セミナー
【特許庁、近畿経済産業局 近畿知財戦略本部】

特許庁、近畿経済産業局、近畿知財戦略本部では、大学等の研究者等を対象としたライフサイエンス分野における特許審査セミナーを開催致します。

■開催日時、場所及び講師

1. 日時:平成20年10月2日(木)13:30~17:00
場所:大阪市立大学 阿倍野キャンパスあべのメディックス6F
医学情報センターホール
講師:特許庁 特許審査第3部 生命工学 審査官 山中 隆幸
定員:120名
2. 日時:平成20年10月3日(金)13:30~17:00
場所:大阪大学 先端科学イノベーションセンター 先導的研究棟
2階会議室 A・B
講師:特許庁 特許審査第3部 生命工学 審査官 山中 隆幸
定員:60名

■詳細は、以下のとおり

[http://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/osirase/Life-science\(20fy\).pdf](http://www.kansai.meti.go.jp/2tokkyo/osirase/Life-science(20fy).pdf)

■問い合わせ先

大学等研究者向けセミナー事務局
(特定非営利活動法人KGC 可知(かち))
電話:090-9112-7595
近畿経済産業局 地域経済部 産学官連携推進課
特許室 今田(いまだ)
電話:06-6772-5004



国際フロンティア産業メッセ2008
【国際フロンティア産業メッセ2008実行委員会】

本展示会では、企業や大学・研究機関による先端技術の紹介や新事業創出の基盤となる製品展示を中心に、あわせて基調講演、各種セミナーや交流会など多彩なプログラムを展開し、技術・ビジネス交流を進める機会を提供することとしています。

今回は、様々な分野にわたるものづくり企業や最先端の研究機関の集積の強みを活かした次世代成長産業の創出・育成を図るため、産業全体への高い波及性と大きな成長が期待される[1]ナノ、[2]情報通信・エレクトロニクス、[3]健康・医療、[4]環境・エネルギー、[5]ロボット(人工知能)の5つの先端技術分野を中心に展開いたします。

■日時:2008年(平成20年)10月8日(水)・9日(木) 10:00~17:00

■場所:神戸国際展示場2号館 (神戸ポートアイランド)

■参加費:無料

■予定出展規模:最大200小間(同時開催事業を含む)

■予定来場者数:15,000人

■詳細: <http://www.kobemesse.com/>

■問い合わせ

(財)新産業創造研究機構(NIRO)支援企画調整部
〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目5-2
TEL.078-306-6806 FAX.078-306-6813

□産学官連携、起業、ベンチャー経営および各種支援に関するご寄稿をお待ちしております。

□法人会員・賛助会員の皆様からのイベント情報などもお寄せください。

□メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com



【3】編集部からのお知らせ

-
- 産学官連携、起業、ベンチャー経営および各種支援に関するご寄稿をお待ちしております。
 - 法人会員・賛助会員の皆様からのイベント情報などもお寄せください。
 - メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com

▼△▼△

【4】編集後記

残暑もようやくおさまる気配の昨今ですが、頭から冷水をぶっかけられるような大事件の連続です。昨年秋にから大きく表面化したサブプライム問題は、いよいよ米国の大手証券会社の破たん、生命保険会社の経営危機にとどまらず、金融機関の大再編へと影響が広がっています。つれて、世界中の株式市場もドミノ倒しのように暴落・乱高下と大混乱。日本でも金融機関の更なる損失の連鎖が表面化しています。米政府の介入も効果のほどが読めない状態で、今や市場を支配しているものは恐怖心だとか。

恐怖心の連鎖が事態をさらに悪い方向へ押しやっています。米テレビは富裕層まで自らの豪邸を現金化しようとしていると伝えています。ここ当分は、この状態から脱却できないかも知れません。

しかし、この地球規模の大事件も天から星が降ってくるような破壊的な事件ではありません。人間の強欲、貪りが生み出した混乱です。とすれば、つつましやかで無駄のない生活態度が究極の解決策だ、と言ってもあながち間違いではないかもしれません。一時、140ドルを超えた原油も消費者が、家で寝転んでいたり、自転車に乗ったりしているうちに100ドルを割ったのですから。(稲)

-
- 発行責任者: 青い銀杏の会 <http://www.osaka-u.com/>
 - 編集: 青い銀杏の会事務局
 - メールマガジン連絡先: mailmz@osaka-u.com
 - このメールマガジンの、お知り合いへの紹介や転送は自由です。
 - Copyright (c) 2008 青い銀杏の会. All rights reserved.